

東京エリア デビアン 勉強会



Debian勉強会幹事 上川純一

2008年12月20日

1 Introduction

上川 純一

今月の Debian 勉強会へようこそ。これから Debian の世界にあしを踏み入れるという方も、すでにどっぷりとつかっているという方も、月に一回 Debian について語りませんか？

Debian 勉強会の目的は下記です。

- Debian Developer (開発者) の育成。
- 日本語での「開発に関する情報」を整理してまとめ、アップデートする。
- 場 の提供。
 - 普段ばらばらな場所にいる人々が face-to-face で出会える場を提供する。
 - Debian のためになることを語る場を提供する。
 - Debian について語る場を提供する。

Debian の勉強会ということで究極的には参加者全員が Debian Package をがりがりとするスーパーハッカーになった姿を妄想しています。情報の共有・活用を通して Debian の今後の能動的な展開への土台として、「場」としての空間を提供するのが目的です。

以上を目的とした、2008 年アジェンダです：

1. 新年会「気合を入れる」
2. Open Source Conference Tokyo (3/1)
3. データだけのパッケージを作成してみる、ライセンスの考え方 (David Smith)
4. バイナリーつのパッケージを作成してみる (吉田@板橋)
バージョン管理ツールを使い Debian パッケージを管理する (git)
アップストリームの扱い (svn/git/cvs)(岩松 信洋さん)
5. バイナリーの分けたパッケージの作成。(前田さん)
バイナリーの分け方の考え方、アップグレードなどの運用とか。
6. パッケージ作成 (dpatch/debhelper で作成するパッケージ)(小林儀匡さん)
man の書き方 (roff or docbook)(でんさん)
7. パッケージ作成 (kernel patch、kernel module)、Debconf 発表練習
8. Debconf アルゼンチン、共有ライブラリパッケージ作成
9. Open Source Conference Tokyo/Fall、デーモン系のパッケージの作成、 \LaTeX 、emacs-lisp、フォントパッケージ
10. パッケージの cross-compile の方法、amd64 上で i386 のパッケージとか、OSC-Fall 報告会、Debconf 報告会
11. 国際化 po-debconf / po 化 / DDTP
12. 忘年会

Debian 勉強会レポート

目次

1	Introduction	1
2	事前課題	3
2.1	上川純一	3
2.2	平澤俊継	3
2.3	藤沢理聡	4
2.4	前田耕平	4
2.5	じつかた	4
2.6	やまだたくま	5
2.7	小室 文	5
2.8	小林 儀匡	6
2.9	キタハラ	6
2.10	山本 浩之	6
2.11	岩松 信洋	6
2.12	日比野 啓	7
3	最近の Debian 関連のミーティング報告	8
3.1	東京エリア Debian 勉強会 46 回目報告	8
3.2	Debian Meeting With Coffee	9
4	各種イベント開催実績	10
5	2008 年を振り返ってみる	15
5.1	最近のトレンドと今後の推移	15
5.2	SWOT	16
5.3	SWOT 2	17
6	sqlite3 と python で csv ファイルを分析する	19
6.1	データベースの作成	19
6.2	データをつっこむ	20
6.3	SQL を使ってみる	20

2 事前課題

上川 純一

今回の事前課題は以下のうちどれかです:

1. Debian 勉強会で今年やったこと、来年したいこと
2. L^AT_EX+Git の事前課題ができなかった、こんなハマり方しました体験記

この課題に対して提出いただいた内容は以下です。

2.1 上川純一

今年やって来年やりたいことを考えてみました。

2.1.1 今年やったこと

- 一年の最初に計画をたててみた。最終的にはそのまま実施はしなかったけど、なんらかのアイデアの源泉にはなった。
- L^AT_EX のハンズオンをやった。
- Debian パッケージ作成のための一連の講座をやってみて、新しく講師役をいろいろな人たちにしてもらった。

というのがありました。

2.1.2 来年やりたいなぁと思っているのは

いろいろとハンズオンのものを増やしていきたいくて

- DocBook のハンズオン
- パッケージ作成のハンズオン
- avahi の活用講座
- L^AT_EX 関連のもろもろのバグを直す。
- screencast / ビデオカンファレンス / ストリーミング関連の何か

あたりを考えています。

2.2 平澤俊継

2.2.1 Debian 勉強会で年やったこと、来年したいこと

今回で 3 回めの参加です。デビアンもそうですが、知らないことだらけなので、来年は皆勤賞をねらいつつ、色々できるようにしたいなぁ

2.2.2 L^AT_EX+Git の事前課題ができなかった、こんなハマり方しました体験記

L^AT_EX はまあ、あつかいなれている方なのでストレス無ですが、ビバ vi なわたしには emacs がなんともいえず、はあああってかんじでとても苦労しています。これだけの文章たたくのに 10 分ぐらいかかっているんですが今回と前回の課題を通してまだよくわかっていないなあと感じるところは

- git のしくみ
- 自作マクロ (たとえば santaku とか)
- そしていーまっくす

こんなもので勘弁してください

2.3 藤沢理聡

2.3.1 「Debian 勉強会で今年やったこと、来年したいこと」

今年は、3 月までは関西 Debian 勉強会、4 月からは東京エリア Debian 勉強会に参加しました (何度かスケジュールの都合で参加できませんでしたが)。毎回目新しい知識に触られるという点で、勉強会という場は自分にとって魅力的なものですが、すべてを一度に吸収するのは難しく、とり逃したものもあります。その点、過去の資料が見ることがありがたいです。

私的に今年の反省として、

- 勉強会で扱われた内容に対して、十分な try and error の時間を確保できなかった
- 勉強会や Debian Project に対して何も貢献していない

という 2 点を来年は改善していきたいと考えています。

2.3.2 来年は

上記を踏まえて「1 ユーザからの脱却」を目指して頑張ろうと思います。そのためにまず、<http://www.debian.or.jp/community/devel/> に書いてあることは年末年始を利用して理解しておきたいと思う次第です。

2.4 前田耕平

2.4.1 Debian 勉強会で今年やったこと。

今年は、パッケージの作成で発表を行いました。当日せっかくツッコミをいろいろ頂いたのに、資料を修正していなかった、ということに今更ながら気づきました。復習大事ですね。あとは、Debian の“で”は出会い系の“で”に貢献したこと。(わら

2.4.2 来年への決意表明。

- ネタの発表と勉強会の運営にもっと積極的に参画していきます、じゃなくて、“します”。
- Debian 勉強会への参加者、Debian の開発者を増やすための方法を考えます。
- ヨメを Debian ユーザにして、勉強会へ連れてきます。

2.5 じつかた

2.5.1 「Debian 勉強会で今年やったこと」

勉強会に参加して、

- パッケージ作成関連 (OSC でのハンズオン含む)

- L^AT_EX ハンズオン

が勉強になった。なんとなくパッケージ作成できるようになってきたので、もう一段ステップアップしたい。

2.5.2 「Debian 勉強会で来年したいこと」

目標としては、

- 勉強会の参加回数を増やす
- 何かの形で勉強会、Debian Project に貢献したい

勉強会のネタとしては、

- パッケージ作成
- バグレポートハンズオン
- 大規模な環境での、Debian サーバ管理方法。パッケージの一斉適用とか設定ファイルの管理とか、実際運用している方の話を聞いてみたいです。

といった感じでしょうか。

2.6 やまだたくま

Debian 勉強会で今年やったこと、来年したいこと

勉強会には 11 月から参加し始めたばかりの Debian 初心者なので、今年やったことは残念ながら一つしかないのですが...

今年やったこと

- avahi の準備の指示を見落としていたので、会場内に DHCP server がないため途方にくれました (Windows の VMware 上で Debian を動かしていたため)
- T_EX 懐かしい

2.6.1 来年したいこと

- git のハンズオン
- パッケージ作成のハンズオン
- 翻訳のハンズオン

あたりができるといいなあと思っています。

2.7 小室 文

- Debian 勉強会で今年やったこと
今年はずんど勉強会は参加しませんでした。。。 とりあえず将来の DD は産みました。
- 来年したいこと
基本的な事ですが、もっと C と kernel を勉強する事です。んで server の Tuning をもっと出来るようになりたい。それと似た境遇の人を探す事。女性でママでシステムやっている人いないかなあ。。
- L^AT_EX+Git でこんなハマり方しました体験記
anthy+scim の入力が初めてなのでかなり時間がかかりました。

2.8 小林 儀匡

2.8.1 Debian 勉強会で今年やったこと

今年は、debhelper+CDBS+quilt/dpatch でのパッケージングに関する話と、Po4a を用いた翻訳メンテナンスについての話をしました。

2.8.2 Debian 勉強会で来年したいこと

来年は、buildd を用いた自動ビルドについて話ができたらと思います。また、ちょっと手を動かしてあげることがいくつかあるので、それらをもう少しきちんとしたかたちにして発表したいです。

最後に、来年こそは Debian Developer になりたいです。

2.9 キタハラ

- Debian 勉強会で今年やったこと

序盤から中盤は健康上の理由で、あまり参加できませんでしたねえ。終盤では、万年 stable 利用者にもかかわらず sid を導入したり、ん十年ぶりに TeX いじったり、怒涛の展開になっています。(今も…)

- 来年したいこと

勉強会の事前課題が、次回以降もこの形式になるならば、emacs を覚えなさいといけないのかなあ？ 基本的に*nix 環境では、vi 派なのですが。(…と言うより、emacs まったく使えません！)

2.10 山本 浩之

今年もあまり大したことをなせずに過ぎ去ってしまいました。

今年やったこと

- 昔、岩松さんが講演した live-helper の使い方を実践し、OSC にて Live DVD を配布しました。
- 小林さんの講演に触発され、CDBS にてパッケージを作りました。

来年したいこと

- 英語を勉強し、翻訳関係 (査読とか) でも貢献したい。
- emacs をもっとうまく使えるようになりたいです (笑)

2.11 岩松 信洋

2.11.1 今年

今年以下のようなことを行いました。

- Debian パッケージングハンズオンをやった。
- Git にどっぷりとつかった。
- git-buildpackage / VCS と Debian パッケージについて考えてみた。
- カーネル側からのパッケージに関するアプローチを試みた。
Linux kernel patch / kernel module について話した。
- 合宿をやった。
- Ustream を使ったストリーミングを行った。
- 新しい言語への挑戦 (Perl/Ruby/Lua)、チームへの参加を行った。
- 他の勉強会とのコラボをした。

- 勉強会運営を行った。
- サポートするパッケージを増やした。

2.11.2 来年の目標

- DD になる
- SH ポーティング、wanna-build/buuldd 関係
- 上位レイヤの方との交流
- ビデオ関係、ストリーミングのサポート強化
- カーネル関係での Debian への貢献

2.12 日比野 啓

2.12.1 今年やったこと

- 温泉に行って Bigloo(Scheme の処理系) を packaging してみました
- Debian 勉強会の会場として大学の部屋を借りる計画をしました

2.12.2 来年したいこと

- 手元でいじっているコードを公開する
- OCaml の布教活動 (笑)

3 最近の Debian 関連のミーティング報告

上川 純一



3.1 東京エリア Debian 勉強会 46 回目報告

東京エリア Debian 勉強会報告。2008 年 11 月 15 日土曜日に 11 月の第 46 回東京エリア Debian 勉強会を実施しました。今回の参加者は青木さん、平澤さん、明渡さん、やまだたくまさん、前田耕平さん、伊藤弘和さん、山本浩之さん、濱野司さん、でん@相模原さん、じつかたさん、森田尚さん、岩松さん、kenichiro matohara さん、小林さん、北原さん、鈴木崇文さん、藤沢理聡さん、吉田@板橋さん、日比野啓さん、やまねひできさん、上川 x2 の 22 名でした。

今回は私にとっての初のハンズオンイベントの進行役です。感想をつらつらと書いてみます。

最初に会場のネットワークの設定を行いました。有線ネットワークを必要とする人が多く、無線以上に設定が時間がかかりました。また、avahi (autoipd) でネットワークを構築するという手法を理解していない参加者が大半で、dhcp が無いため設定できないというコメントをいただきました。無線で、avahi で接続するという方針は野心的すぎたかもしれませんね。会場の電源容量がたりるかどうかわびやひやしましたが、プレーカーはおちなかったようです。最初の 30 分を費やしましたが、Git 演習の部分を省略すればすむので、諦めました。ネットワーク関連のその他の問題として Git サーバが安定して稼働しない、Debian Mirror が動かないという問題がありました。とりあえず、はらはらどきどきです。

開始後数十分以上遅刻してきた人が数人居ましたが基本的にはサポートする余裕はありませんでした。今ネットワークの設定なんてしなくてよいから!

事前に準備していた項目は一通り説明しました。参加者がうまく操作できていたかどうかは講師をしていた側としてはよくわかりません。

宴会で聞いたところハンズオンをしたのでよくわかったというコメントも、途中で理解できないところがあったというコメントもありました。次回以降もハンズオン形式を継続してみるべきなのかどうかは判断に迷います。

漢字入力ができないというのは、sid をインストールするだけで何も漢字入力方法を設定してこないとは想定していなかったので、課題には記述していませんでした。

漢字が表示できないというのは Bug#506165^{*1}が根本原因だったようです。当日は原因がよく分からなかったため、リカバリできませんでした。今後は Bug#506047^{*2}などと合わせて改善していくでしょう。

^{*1} <http://bugs.debian.org/506165>

^{*2} <http://bugs.debian.org/506047>

3.2 Debian Meeting With Coffee

2008年12月3日に Debian Meeting With Coffee が開催されました。参加者はやまねひできさん、山本浩之さん、いわまつさん、本庄さん、小笠原徳彦さん、ポールデアンドレアスさん、藤沢理聡さん、はしもとまささん、でんすけさん、吉田@板橋さん、id774.netさん、ssig33さん、やまださん、yuisekiさん、mizunoさん、いちいたかしさん、たかはしさん、じつかたさん、日比野啓さん、KenichiroMATOHARAさん、しまだ M. ひろふみさん、平澤さん、みやはらとおるさん、まえだでした。^{*3}

まず、みやはらさん、場所とコーヒーをご提供下さり、ありがとうございました。コーヒーごちそうさまでした。

今回の趣旨は、『よりカジュアルな形で Debian についての諸々の話の場を設け(中略)、コーヒーでも飲みつつ Debian について気軽に言葉を交わしてみませんか?』ということでした。ですので、コーヒーを飲みながらゆるい感じでのんびりと Debian についての雑談をしながら過ごすものとはばかり思っていました。ところが、開始1時間後頃にのんびりやってきたところ、すでに参加者による三番目のネタ発表が行われていました。皆さん一応コーヒーは手元においてすすっているものの、“カジュアル”とはとてもかけ離れた熱い説明と質問が飛び交っていました。趣旨を間違えたわけではないんですね。きっとみんな、Debian について語りたくて語りたくて仕方なかったのですね。お初の参加者が結構多かったのは、いつもの Debian 勉強会はたまたま都合が合わなくて参加できなかったのに違いありません。今まで Debian 勉強会に参加されたことがない方も、今回の DMC をきっかけに、今後は継続的に Debian 勉強会に参加してくれるに違いありません。

ネタ発表は当日参加された方だけの特典としておくとして^{*4}、今後の勉強会のネタだし討論会が岩松さん主導で行われました。そこで決まったものは以下のとおりです。

- N 台のサーバ管理方法
- プレゼン環境
- IPv6 の話
- Debian 勉強会 LT をやりたい。LT のやり方、練習。LT を考える
- AtomPC で Debian 工人舎マシンや eeePC での導入レポート(橋本さん)
- update したいときにどうするのか その展開方法について
- パケットフィルタリングの設定が楽な ipfw, natd を Debian で使えるようにしてみる。(本庄さん)
- Web 系の開発
- 組み込み関係の話 インストーラのデバッグの話(前田)
- Ubuntu Debian 移行方法どれが良いのか? ベストな移行の検討
- Window Manager を熱く語る
- Debian で NAS (日比野さん)
- ドライバオートビルド(岩松さん)
- Debian デバッグ方法 開発環境
- 他のディストロの人を呼ぶ
- VM の話
- ZFS on Debian をフルスクラッチ(でんさん)^{*5}
- YaST on Debian を使えるようにし、SUSE から乗り換える。

名前が拳がっている人、そうでない人、それぞれですが、来年も Debian はネタの宝庫ですね。

^{*3} 参加していたのに載っていない、あるいは参加できなかったのに載っている方がいらっしゃいましたらお詫びします。

^{*4} 単に覚えていないだけでも言う。

^{*5} ご自身の誕生日までに。



4 各種イベント開催実績

上川 純一

Debian 開発者の育成を目的として開催してきた東京エリア Debian 勉強会も今回で 4 年目が終了しました。事前課題事後課題を設定しており、予習復習を必要だとうたっている勉強会ですが、実際にどれくらい実施されているのか、まずは事前課題の実施実績を確認してみましょう。図 1 です。各月の数字は表 1 です。

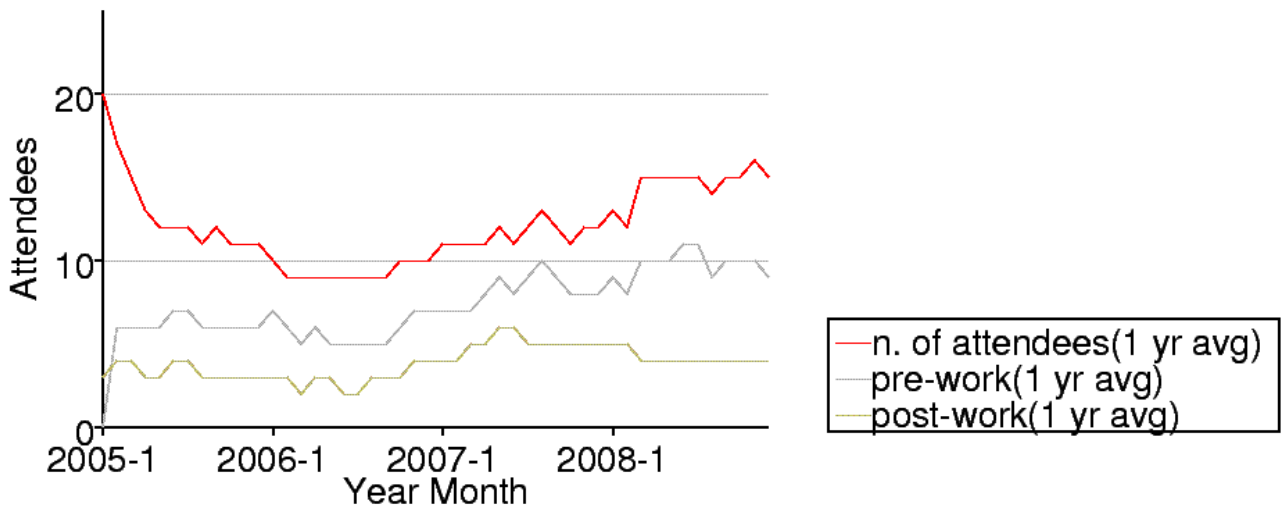


図 1 東京エリア Debian 勉強会事前課題・事後課題提出実績 (12ヶ月移動平均)

昨年からは勉強会は東京と関西の両方で開催されるようになっていきます。東京エリア Debian 勉強会と、関西 Debian 勉強会について簡単に出席数で実績をみてみましょう。まず、東京についてグラフにしてみると図 2 になります。

具体的な数字と、トピックを見てみましょう。

それでは、関西 Debian 勉強会の出席状況を確認してみましょう。グラフで見ると図 3 になります。表で見ると表 6

表 1 東京エリア Debian 勉強会事前課題・事後課題提出実績

年	月	参加人数	事前課題	事後課題
2005	1	20	0	3
2005	2	15	12	6
2005	3	10	8	4
2005	4	9	6	2
2005	5	6	6	4
2005	6	13	10	5
2005	7	12	7	4
2005	8	9	6	2
2005	9	14	7	4
2005	10	10	5	3
2005	11	7	6	3
2005	12	8	5	3
2006	1	9	7	3
2006	2	8	4	2
2006	3	6	0	0
2006	4	15	11	6
2006	5	7	2	1
2006	6	14	9	4
2006	7	2	2	4
2006	8	17	9	7
2006	9	12	8	5
2006	10	22	15	7
2006	11	3	12	7
2006	12	15	7	4

年	月	参加人数	事前課題	事後課題
2007	1	15	6	4
2007	2	13	8	4
2007	3	0	6	16
2007	4	18	14	6
2007	5	21	14	7
2007	6	1	0	1
2007	7	18	12	3
2007	8	25	18	5
2007	9	0	7	5
2007	10	10	1	6
2007	11	19	10	6
2007	12	11	11	4
2008	1	22	11	4
2008	2	0	1	0
2008	3	37	27	11
2008	4	17	13	3
2008	5	20	14	3
2008	6	10	8	2
2008	7	17	12	4
2008	8	10	0	4
2008	9	17	13	5
2008	10	11	0	7
2008	11	22	14	6

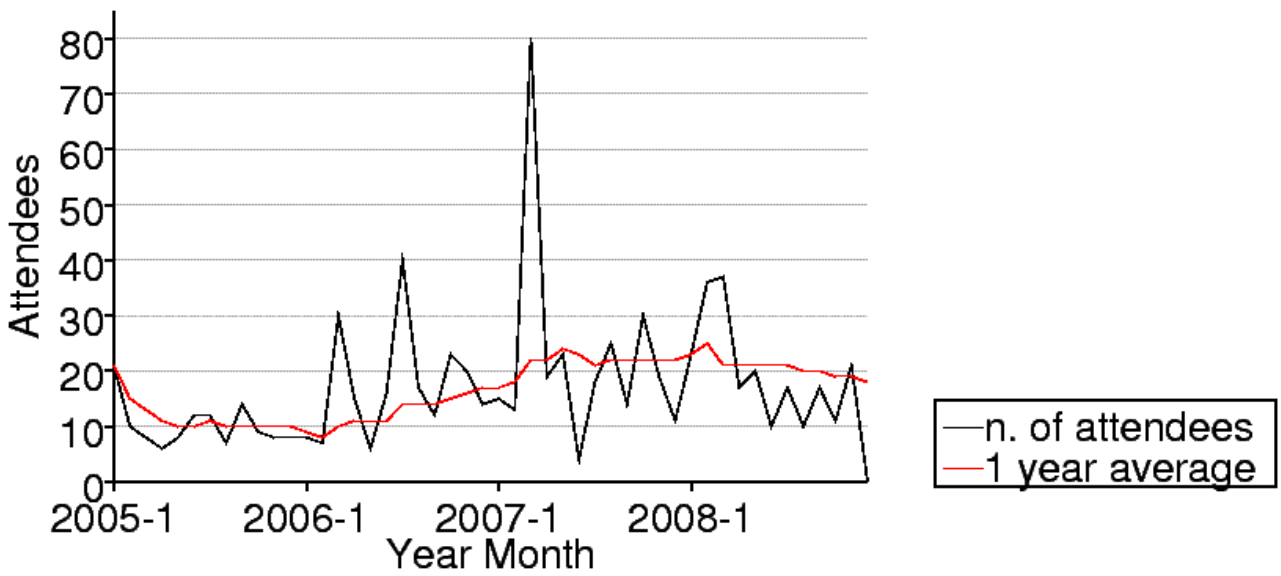
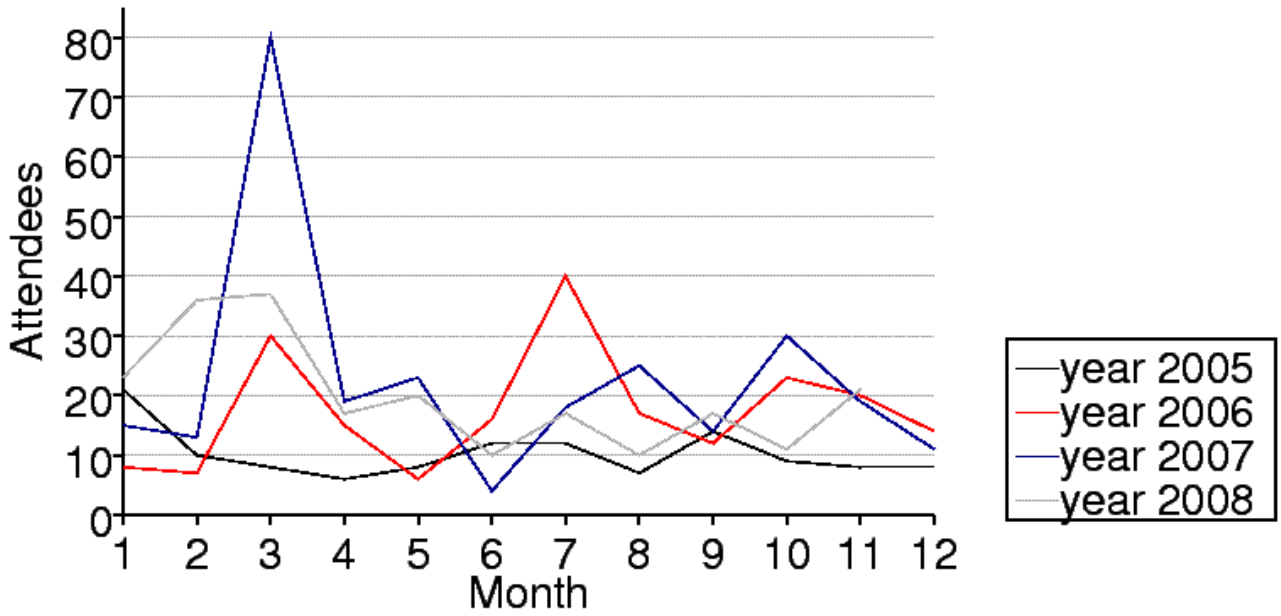


図2 東京エリア Debian 勉強会の参加人数推移

表2 東京エリア Debian 勉強会参加人数 (2005 年)

	人数	内容
2005 年 1 月	21	秘密
2005 年 2 月	10	debhelper1
2005 年 3 月	8	(早朝) debhelper2、social contract
2005 年 4 月	6	debhelper3
2005 年 5 月	8	DFSG、dpkg-cross、lintian/linda
2005 年 6 月	12	alternatives、d-i
2005 年 7 月	12	toolchain、dpatch
2005 年 8 月	7	Debconf 参加報告、ITP からアップロードまで
2005 年 9 月	14	debconf
2005 年 10 月	9	apt-listbugs、バグレポート、debconf 翻訳、debbugs
2005 年 11 月	8	DWN 翻訳フロー、statoverride
2005 年 12 月	8	忘年会

表3 東京エリア Debian 勉強会参加人数 (2006 年)

	参加人数	内容
2006 年 1 月	8	policy、Debian 勉強会でやりたいこと
2006 年 2 月	7	policy、multimedia
2006 年 3 月	30	OSC: debian 勉強会、sid
2006 年 4 月	15	policy、 \LaTeX
2006 年 5 月	6	mexico
2006 年 6 月	16	debconf、cowdancer
2006 年 7 月	40	OSC-Do: MacBook Debian
2006 年 8 月	17	13 執念
2006 年 9 月	12	翻訳、Debian-specific、oprofile
2006 年 10 月	23	network、i18n 会議、Flash、apt
2006 年 11 月	20	関西開催: bug、sid、packaging
2006 年 12 月	14	忘年会

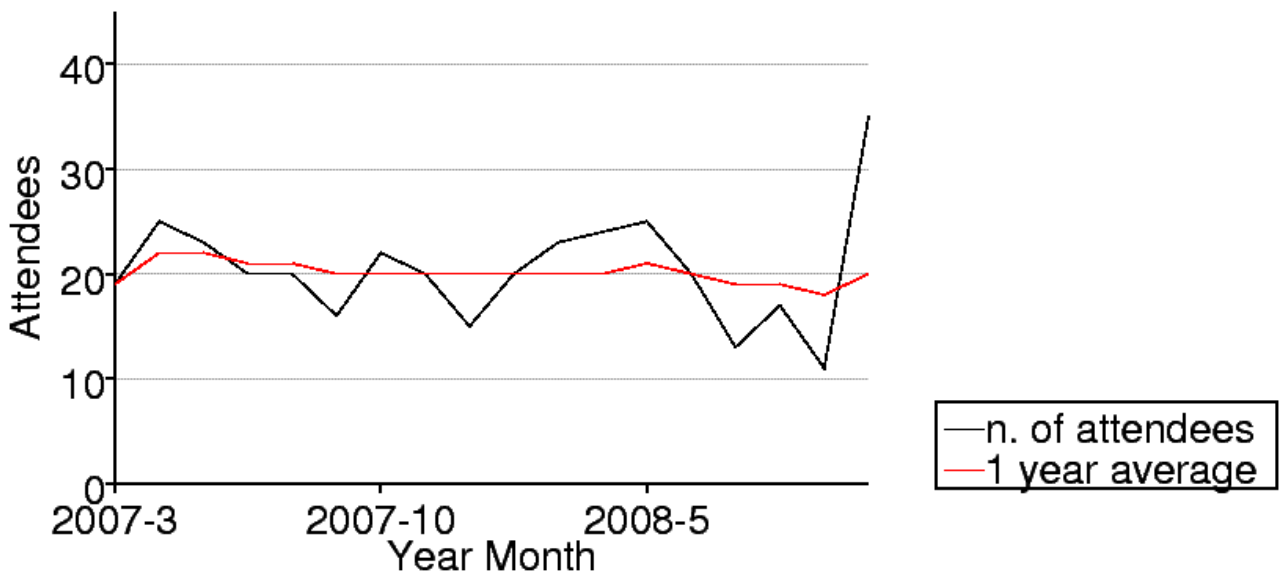


図3 関西の参加人数推移

表 5 東京エリア Debian 勉強会参加人数 (2008 年)

	参加人数	内容
2008 年 1 月	23	一年を企画する
2008 年 2 月 29+1 日	36	OSC
2008 年 3 月	37	データだけのパッケージ、ライセンス
2008 年 4 月	17	バイナリパッケージ
2008 年 5 月	20	複数のバイナリパッケージ
2008 年 6 月	10	debhelper
2008 年 7 月	17	Linux kernel patch / module パッケージ
2008 年 8 月	10	Debconf IRC 会議と Debian 温泉
2008 年 9 月	17	po4a, 「Debian メンテナのお仕事」
2008 年 10 月	11?	OSC Tokyo/Fall
2008 年 11 月	17	「その場で勉強会資料を作成しちゃえ」 Debian を使った L ^A T _E X 原稿作成合宿
2008 年 12 月	?	忘年会

表 4 東京エリア Debian 勉強会参加人数 (2007 年)

	参加人数	内容
2007 年 1 月	15	一年を企画する
2007 年 2 月	13	dbcs, dpatch
2007 年 3 月	80	OSC 仮想化
2007 年 4 月	19	quilt, darcs, git
2007 年 5 月	23	etch, pbuilder, superh
2007 年 6 月	4	エンジンパラ開催 : Debconf7 実況中継
2007 年 7 月	18	Debconf7 参加報告
2007 年 8 月	25	cdn.debian.or.jp
2007 年 9 月	14	exim
2007 年 10 月	30	OSC Tokyo/Fall(CUPS)
2007 年 11 月	19	live-helper, tomooyo linux kernel patch, server
2007 年 12 月	11	忘年会

表 6 関西 Debian 勉強会参加人数 (2007 年)

	参加人数	内容
2007 年 3 月	19	開催にあたり
2007 年 4 月	25	goodbye、youtube、プロジェクトトラッカー
2007 年 6 月	23	社会契約、テーマ、debian/rules、bugreport
2007 年 7 月	20 前後	OSC-Kansai
2007 年 8 月	20	Inkscape、patch、dpatch
2007 年 9 月	16	ライブラリ、翻訳、debtorrent
2007 年 10 月	22	日本語入力、SPAM フィルタ
2007 年 11 月	20 前後	KOF
2007 年 12 月	15	忘年会、iPod touch

表 7 関西 Debian 勉強会参加人数 (2008 年)

	参加人数	内容
2008 年 2 月	20	PC Cluster, GIS, T _E X
2008 年 3 月	23	bug report, developer corner, GPG
2008 年 4 月	24	coLinux, Debian GNU/kFreeBSD, sid
2008 年 5 月	25	ipv6, emacs, us-tream.tv
2008 年 6 月	20	pbuilder, hotplug, ssl
2008 年 8 月	13	coLinux
2008 年 9 月	17	debian mentors, ubiquity, DFSG
2008 年 10 月	11	cdbs,cdn.debian.or.jp
2008 年 11 月	35	KOF
2008 年 12 月	?	



5 2008 年を振り返ってみる

上川 純一

5.1 最近のトレンドと今後の推移

最近どんなことがあって、これからどういうことがあるでしょうか。みんなで予想してみましょう。

2006	2007	2008	2009	2010
IntelMac に、core- duo で dual-core CPU に、 glantank(ARM)、 OpenMi- croServer(MIPS)、 OpenSolaris が出 て Debian/Solaris (Nexenta) 登場、 SparcT1 がオープ ンに、 CC3.0、 Qwik 登場 (?), 雑誌が大多数消失、	VT・AMD-V(仮想 化技術) が普及 (ML115!)、 黒箱 (ARM)、 Open- Blocks(PPC?)、 iPhone 登場、HS- DPA 月額 5000 円 くらいに、google mobile、 VISTA リリース、 Leopard リリース、 GPL3.0、メモリ 2G がコモディ ティに、SparcT2 がオープン、ニコニ コ動画、	python 3.0 ruby 1.9 wine 1.0, wine64 登場 RoR 2.0 登場で普及に 4 コア・64bit の CPU がデス クトップに普及、Core2Quad 値下げ。 ニコニコ動画 1000 万ユーザ突 破、初音ミクブームに 地デジ関連の PC 製品の普及 勉強会の普及 (楽天とか) 公衆無線 LAN (wireless gate) 携帯電話の売上が落ちる、 iPhone, Android 登場、emo- bile 100 円 PC 抱きあわせ (eeePC, Dell mini9) Zaurus 販売終了。 Chumby 発売。 サーバの仮想化 ESXi・シンク ライアント MacBook Air 発売、無線 802.11n が実機に SystemZ10 発表 世界経済の崩壊 (IT 投資緊縮 財政、職を失う人が増加) FreeBSD 7 (malloc, ZFS ?) Debian 次世代育成計画始動 Debian Maintainer 制度始動 セキュリティ関連 (OpenSSL 事件、DNS 事件) クラウド関連が流行? Nintendo DSi	tile window man- ager boom ? Lenny リリース予 定 Debian 合同結婚式 デスクトップ、8 コ ア、4GB? 8GB? ノートパソコン、2 コア、2GB? Linux が標準インス トールの PC。 SSD の値段と容量 がこなれる? HDD がなくなる?高くな る? ファイルシステムか わる? ipv6 使えるようにな ってる? Bluray が普及? DL 禁止法? tor- rent に逆風?	消費税上昇に伴う繁 忙期 クラウドにより、単 純なホスティング業 者が見つからない? 一 部は自社でもつよう になる? Squeeze リリース USB 3.0 搭載、 wireless USB vs Bluetooth ? 組み込み CPU は Atom に統一?Arm は残ってる? kFreeBSD オフィシ ャルアーキテクチャ に ruby 2.0 リリース?

5.2 SWOT

できたこと	できなかったこと	チャンスとなるもの	脅威となるもの
<p>嫁ができた。(20%、10% 2次元) 将来の DD が生まれた。</p> <p>Hands-on(パッケージ作成と$\text{L}^{\text{A}}\text{T}_{\text{E}}\text{X}$) と合宿(温泉とプレスト)、DMC ができた。</p> <p>持ち回りで発表する場所がいろいろあった。(上川不在)</p> <p>他の勉強会(カーネル読書会)に殴り込み(岩松、山根)</p> <p>Ubuntu との交流、Debian JP に寄付</p>	<p>当初の目標であった女子高生、大学生への勧誘が成功しなかった。</p> <p>嫁ができなかった(70%、想像力がたりない)</p> <p>発表やりたかったけどできなかった(でんさん)</p> <p>GNU/Hurd、SuperH</p> <p>Debconf にいけなかった(上川以外)</p> <p>日本への Debconf 招致活動未完</p>	<p>所帯持ちハック方法が生まれる(いかにして時間をつくるか)。</p> <p>無駄な買い物をしなくなる。ハックしないと。</p> <p>東京オリンピックの成立?</p> <p>学生の就職率低下、大学院生増加? ニート増加?</p> <p>GPLv3 の普及?</p> <p>Android?</p>	<p>環境整備ができなくなる(ボーナスが減った、仕事なくなるかも)</p> <p>Atom による CPU アーキテクチャーの駆逐</p> <p>ハックできないデバイスの増加(電話とか)</p> <p>法制度の強化により自由がうばわれる?</p> <p>従量制課金に移行?</p>

5.3 SWOT 2

		チャンスとなるもの	脅威となるもの
		<p>所帯持ちハック方法が生まれる (いかにして時間をつくるか)。 無駄な買い物をしなくなる。ハックしないと。 東京オリンピックの成立? 学生の就職率低下、大学院生増加?ニート増加? GPLv3 の普及? Android?</p>	<p>環境整備ができなくなる (ボーナスが減った、仕事が無くなるかも) Atom による CPU アーキテクチャーの駆逐 ハックできないデバイスの増加 (電話とか) 法制度の強化により自由がうばわれる? 従量制課金に移行?</p>
できたこと	<p>嫁ができた。(20%、10% 2次元) 将来の DD が生まれた。 Hands-on(パッケージ作成と L^AT_EX) と合宿 (温泉とブレスト)、DMC ができた。 持ち回りで発表する場所がいろいろだった。(上川不在) 他の勉強会 (カーネル読書会) に殴り込み (岩松、山根) Ubuntu との交流、Debian JP に寄付</p>	<p>東京オリンピックの会場でハック。 学校にお願いして学生を勧誘する・ハンズオン。 「君のさわっている XX は Linux だけどより詳しく知りませんか?」(ミニノートのプリインストール、携帯、Android)</p>	<p>よりよいネットワークプロトコルを実施 アンチ Atom?</p>
できなかったこと	<p>当初の目標であった女子高生、大学生への勧誘が成功しなかった。 嫁ができなかった (70%、想像力がたりない) 発表やりたかったけどできなかった (でんさん) GNU/Hurd、SuperH Debconf にいけなかった (上川以外) 日本への Debconf 招致活動未完</p>	<p>Debconf にいく。 時間をつくる、ライフハック (所帯持ちハック)。 専門学校、工業高校、大学での開催。 言語系のコミュニティーに切り込む インフラ系の人たちに切り込む 非常勤講師になる。</p>	



6 sqlite3 と python で csv ファイルを分析する

上川純一

sqlite はお手軽に SQL を利用するための仕組みです。データベースが一つの UNIX ファイルとして管理されており、データベースの作成・削除が簡便に行うことができること、また、サーバクライアントアーキテクチャではなく、OS の提供するファイルシステムのロック機構を活用して ACID 特性を実現しているという特徴があります (図 4)*6。データベースを利用する場合においては、データベースをサーバクライアントモデルで利用しようとする、データベースファイル置き場やポート番号やホスト名やユーザ名やパスワードの設定が最低でも必要になりますが、それらが必要なくなります。そのため、データベースのインスタンスを別に立ち上げなくてもよいんだけど、ちょっと SQL を使いたいというようなクイックハックに便利です。



図 4 一般的な DB と sqlite の違い

まず、この記事に必要な関連パッケージをインストールしましょう。

```
apt-get install sqlite3 python-pysqlite2
```

6.1 データベースの作成

sqlite3 という CUI のアプリケーションがあり、一般的な SQL 文を利用することができます。また、ruby, perl, ocaml, haskell, common lisp, Smalltalk などの一般的なプログラミング言語用のバインディングも用意されており、データベースを利用することができます。

まず、データベースを作成してみましょう。

```
$ sqlite3 debmtg.db
sqlite>
```

存在しない新しいファイル名を指定すれば、そのファイル名でデータベースが作成されます。この時点で SQL 文 (CREATE TABLE) などが利用できます。

*6 <http://www.sqlite.org/atomiccommit.html> に仕組みの説明があります

6.2 データをつっこむ

データベースも作成できたので、データをつっこんでみましょう。csv ファイルからデータベースにデータを挿入するケースを考えてみます。実はsqlite3 の `.import` コマンドを使えばよいのですが、ここではプログラム言語のバインディングを活用してインポートしてみます。

まず、csv 形式でデータを用意します。

```
上川,10  
岩松,15  
山田,9
```

csv ファイルを読み込み SQL コマンドを出力する python のコードを書きます。

```
#!/usr/bin/python2.5  
  
""" test program to import minimalistic csv file to sqlite database.  
Creates debmtg.db  
"""  
from pysqlite2 import dbapi2  
import csv  
  
con = dbapi2.connect('debmtg.db')  
cur = con.cursor()  
  
cur.execute('create table test(name text, score number)')  
  
for rows in csv.reader(file('test.csv')):  
    cur.execute('insert into test(name, score) values(?,?)',  
                (rows[0].decode('utf-8'),int(rows[1])))  
  
con.commit()  
con.close()
```

6.3 SQL を使ってみる

sqlite3 コマンドを実行するとインタラクティブに SQL 文を入力することが可能です。

まず、sqlite 独自の命令をつかってデータベースの構造を分析してみます。

```
$ sqlite3 debmtg.db  
sqlite> .tables  
test  
sqlite> .dump test  
BEGIN TRANSACTION;  
CREATE TABLE test(name text, score number);  
INSERT INTO "test" VALUES('上川',10);  
INSERT INTO "test" VALUES('岩松',15);  
INSERT INTO "test" VALUES('山田',9);  
COMMIT;
```

SQL 文でランキングを調べたり平均値を調べたりもできます。

```
sqlite> select name, score from test order by score;  
山田|9  
上川|10  
岩松|15  
sqlite> select sum(score)/count(score) from test;  
11
```

以上、簡単ですが、sqlite の紹介でした。



Debian 勉強会資料

2008年12月20日 初版第1刷発行
東京エリア Debian 勉強会（編集・印刷・発行）
